（法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」）

令和４年度事業報告書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

特定非営利活動法人 水辺に遊ぶ会

１　事業実施の実績

①　自然に関する理解を深めるための啓発活動の推進

- COVID-19（新型コロナウイルス感染症）についてはウィズコロナが定着し、患者数の急増時を除いて一定の対応をとることで平常時とほとんど変わらない行事運営ができるようなった。
- 恒例の干潟観察会は春夏ともに 200 名を越える参加者が集まった。前年度から参加者が増えており、駐車場対応など新たな取り組みが必要となった。
- 今年度が３年助成の２年目となり地球環境基金関係の事業は昨年に引き続き、イオンモール三光において、ポスター・映像写真展を 2 回行った。
- ２年前からはじめた 7 月 1 日の中津干潟の日記念行事は、産業道路のロードクリーンと小幡記念図書館での写真展、中津干潟のおかあさん「山国川の自然と石橋 懐かしポスター展」を実施した。本プログラムが定着するよう努力を続けていきたい。
- Savejapan プロジェクトの助成をいただき、ベッコウトンボ観察会、夏休みのガタフェス４（子どもアカデミア）、海ごみワークショップ、アカテガニ産卵観察会、秋の干潟観察会を実施した。セットバック護岸の重要性について考える Eco-DRR イベントを実施した。
- 第６回中津の海の絵コンテスト、TOTO リモデルフェアにおいてポスター展示を行った。
- コープ大分の助成事業として、海苔すき体験など各種事業を実施した。
- 第６回「中津干潟アカデミア・研究発表会」は昨年度同様、屋内行事であるため、観客を入れての開催はできなかった。代わりに YouTube を利用したネット中継を試み概ねうまくいった。内容としては、Eco-DRR（自然の力を活かした防災・減災）をテーマにパネルディスカッション形式で意見交換を行った。
- 市民が気軽にネイチャーセンターに立ち寄る「ひがたかふぇ」は zoom を利用し１回だけの開催となった。複数開催を目指していただけに少々残念な結果となった。
- 主に小学校での自然授業、観察会はほぼ例年通りの実施となった。会所属の環境教育アドバイザーの増強にって、より多くの中津市内の学校にアプローチできると考える。
- 河川協力団体として、出前授業、山国川おサカナ観察会などを実施した。
- テレビ･ラジオ・新聞などへの取材協力を行った。NOASFM、毎日新聞、読売新聞、大分合同新聞、 OAB、ケーブルテレビ等から取材を受け広報につながる成果を残した。

② 調査研究活動

・ 中津市より中津干潟及び野依新池の調査委託があった。干潟の調査では、カブトガニの新しい産卵地を発見することができた。また、春の渡りで小型の渡り鳥トウネンが多く観察された。キアシシギ・オオソリハシシギの減少が続いていることも分かった。後背湿地の減少が心配される。野依新池及び干潟保全の提言書をまとめた。
・ カブトガニ関連の調査は、例年同様に産卵、幼生の個体数、混獲された成体などについて調べた。今年度は、キズのある個体が少なく、混獲される個体は多かった。また、昨年に続き遅い時期まで網にかかった。
・ 中津干潟の調査は、大阪南港ウェットランドグループをはじめ、協力者のおかげで、相対的にも中津干潟の重要性がますます高まってきたことが示された。今期は、地球環境基金の協力で「シギ・チドリ類レポート 2022」を作成・配布した。
・ 野依新池の調査では、トンボ類を中心に植物、水生生物などについて行った。水深ロガーも設置したことから、発生数との相関についても今後調べていきたい。
・ 地球環境基金の協力で、ヨシガモによる捕食やブルーカーボン関連の知見を得るためコアマモのプレ調査を実施したほか、ベントス類についても適宜の調査を実施し、報告書をまとめた。
・ 水産大学校、日本文理大学など複数の大学の調査に協力すると同時に、当会の調査活動にも一部協力いただいた。
・ 今年度から JEAN の海ごみ調査に加え、全国川ごみネットワークの調査に参加した。

③ 海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する啓発活動

・ 海岸清掃、松林景観再生活動は、新型コロナウイルスの影響を受け、参加人数が伸び悩んだものの 5 月、9 月と 12 月の大新田で行うことができた。また、3 月の三百間ビーチクリーンは雨天のため中止となった。
・ 昨年度から蛎瀬川のゴミ問題に取り組み、地元、県土木事務所とゴミ回収の方法などについて対話を重ね、リバークリーンを実施した。また会員１名が１年を通して主に左岸側のプラスチックゴミを回収した。
・ 県立工科短期大学校の海岸清掃と松林整備を実施した。また、城北中学校の全校生徒が参加し三百間浜でビーチクリーンを行った。さらに、小楠小学校が今年もビーチクリーンと松林整備を行った。
・ 中津干潟の日に合わせて、産業道路と競秀峰周辺で石橋ロードクリーンを実施した。

④　ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動

・　アカニシ染めのワークショップは、6 月に漁師レストランひだまりで開催した。当会としては高額な参加費ではあるが、春から初夏の定番行事として広げていきたい。
・　3 月に海苔すき体験のワークショップを実施した。角木地区の海苔漁師は増田さんだけとなっているが、毎回好評をいただいており今後も継続して続けられるよう努力したい。

⑤　自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信

・　ガタガタ通信は予定通り年 4 回発行した。
・　ＨＰのアクセス数は昨年の 31000 件から 35,000 件と微増となった。さらなる増加を目指して SNS の活用、HP をスマートフォン向けに改装する必要があるものと考える。
・　今期は、正会員向けにメールマガジン「ガタガタマガジン」を概ね週 1 回のペースで発行した。これまでブラックボックスに近かった業務の内容が伝わったものと期待する。今後は、一般会員向けのメールマガジンの発行も検討したい。
・　環境保全や NPO 経営など各種の勉強会に 15 回ほど出席し、地域のオピニオンとしての役割も果たすため情報収集活動を行った。
・　3 月に保全の公的枠組みについての勉強会を開催した。ラムサール条約や指定地などの状況、新しい動きであるラムサールシティについて学ぶことができた。
・　2030 年までに海と陸地の 30%を保護区にするという 30by30 に合わせ、新たに進められている OECM の最新の動向について学び、今後、中津干潟の一角を指定する動きに繋げていきたい。

⑥　民間および公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など

・　舞手川河口で実施している養浜の試みが 8 年になるがカブトガニの産卵場所の確保と海岸の保全、河口閉塞の防止という面で効果を上げている。今後も調査、モニタリングを継続したい。
・　中津市環境審議会、大分県うつくし作戦県民会議自然保護観光部会など行政の設置する会議への参加、提言等を継続的に行っている。
・　野依新池に関連して、周辺環境の悪化が懸念されたため、県の自然保護推進室、及び農業基盤整備担当部署などに状況説明と悪化を防ぐための措置をお願いした。ベッコウトンボは、中津市の天然記念物の種指定が進められており、今後は、さらに県の天然記念物の指定などを目指して活動したいと考える。
・　マスコミ対応として、NHK のウオカツ収録およびイベント開催への協力を行った。
・　マスコミ取材、情報提供なども適宜実施した。
・　この他にも大学の研究支援、協働、民間調査協力、情報提供など。
・　行政関係者に適宜、情報提供、提言、協力なども実施した。

⑦　持続可能な社会を追究するためのその他の活動

- 組織基盤強化及び持続的な経営の確立を目指して徐々に分散化をすすめている。理事による定期的な情報交換会を実施するようになり、また、正会員の交流なども視野に入れている。今後も管理業務及び事業実施業務の分散化、組織の高齢化、関係者のスキル不足、若手の担い手不足など課題を一つ一つ解決していきたい。
- 上記の問題に対応して、事業マニュアルの作成を続けている。主な事業及び管理業務を皮切りに、業務内容のパッケージ化を引き続き目指したい。
- 経営ガバナンスは、当会にとって必須のものであり、理事、正会員がその意義を深く理解しておく必要がある。同時に、資金調達、文書管理、監査体制の確立を目指す。
- 「ひがたらぼ」が設置されて 7 年が過ぎたが、各所に老朽化が目立つようになってきた。しっかりとした建造物に更新するために、土地の確保、資金調達など課題は多いが、子どもたちの学習支援や社会教育、研究の拠点を維持発展していくため一丸となって取り組んでいきたい。
- 来年、発足 25 周年となることから、記念行事、提言のとりまとめなどを行っていきたい。

⑧その他

- 経営面では、今年も会員皆様のご協力で無事乗り切ることができ、繰越金も 100 万円程度残すことができた。繰越金の残高は 700 万円近くとなり、ネイチャーセンターの設立も視野に入っている。ただ、経営的には安定した状況とは言いがたく、財源の確保が引き続き課題となったままである。
- 経営の効率化、分業の推進、ガバナンスの確立など課題は山積である。組織化について学習を重ね、メンバーと意見交換を行いながら進めていきたい。理念の共有が重要である。適宜学びの場をつくっていきたい。

（法第28条第1項関係「前事業年度の事業報告書」）

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 水辺に遊ぶ会

２　事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名							
事業内容		実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益対象者の人数	支出額（円）
①　自然に関する理解を深めるための啓発活動の推進							
自然観察会	ベッコウトンボ観察会	5/1	野依地区	10名	市民他	13名	3,194,517
	春の干潟観察会	5/14	大新田	15名	市民他	200名	
	山国川おサカナ観察会	7/23	山国川	10名	市民他	12名	
	アカテガニ観察会	8/11	大新田	11名	市民他	24名	
	ガタフェス4	8/31	ひがたらぼ	30名	市民他	54名	
	秋の干潟観察会	10/8	大新田	14名	市民他	201名	
	ベントス観察会	11/5	野依地区	9名	市民他	8名	
	ｽﾞｸﾞﾛｶﾓﾒと冬鳥観察	12/18	東浜	12名	市民他	17名	
その他行事	写真・映像展・海ごみ	9/27 1/28_29	イオン三光	11名	市民他	不特定	
	中津干潟の日RC	7/1	中津市	12名	市民他	不特定	
	山国川・懐かしポスター	7/2_7/3	耶馬トピア	14名	市民他	不特定	
	石橋ロードクリーン	7/3	競秀峰周辺	10名	市民他	不特定	
	ポスター・写真展	7/1_7/9	市立図書館	2名	市民他	不特定	
	夏休みWS	夏休み	ひがたらぼ	6名	市民他	6名	
	海の絵コンテスト	夏休み	中津市内	4名	児童	867名	
	ひがたかふぇ	5/11	ZOOM	1名	市民他	5名	
	セットバック護岸	11/17	大新田海岸	2名	市民他	20名	
保育園での環境学習指導		2回	中津市	8名	園児	51名	
小学校での環境学習指導		25回	中津市･外	65名	児童	1555名	
中学校での環境学習指導		1回	中津市	1名	学生	312名	
短大・大学の環境学習講師		1回	中津市･外	5名	学生	160名	
社会教育の場などでの講師		2回	中津市･外	2名	児童・市民他	40名	
企業･その他団体他での講師		4回	中津市･外	8名	児童・市民他	121名	
中津干潟NETアカデミア		2/12	今津ｺﾐｭﾆﾃｨ	40名	児童・市民他	不特定	
ﾏｽｺﾐ対応（主なもの）ウオカツ・海プロ		4回	中津市	10名	市民他	不特定	
②　調査研究活動							
生物調査（カブトガニ）		25回	中津干潟	64名	市民他	不特定	3,029,254
生物調査（シギチドリ類他）		30回	中津干潟	75名	市民他	不特定	
生物調査（ベッコウトンボ・生息地）		19回	野依地区他	23名	市民他	不特定	
その他（ｱﾗｲｸﾞﾏ･漁場塩分･ｺｱﾏﾓ･ﾍﾞﾝﾄｽ）		33回	中津干潟	52名	市民他	不特定	
他機関との協働(東京学芸大・水産大・日本文理大 九州大・群馬大・熊本大・大分大・長崎大・京都外語大		7回	中津干潟他	13名	大学他	33名	
③　海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する啓発活動							
ビーチクリーン（漂着物調査）	大新田海岸	5/22･9/4･12/18	大新田	39名	市民他	366名	
	三百間海岸	3/26	三百間	中止	中止	中止	
	漂着物調査	1回	大新田	2名	市民他	不特定	

	学生への指導	2回	大新田他	6名	児童･学生他	252名	1,204,166
児童向海ごみ学習用冊子編集		3月	大分県内	1名	児童・県民他	不特定	
松林景観再生	一般参加作業	5/22･9/4･12/18	大新田	3名	市民他	103名	
	専門作業	6回	大新田	9名	市民他	不特定	
	学生への指導	2回	大新田	6名	児童･学生他	252名	
リバークリーン	蛎瀬川	2回	蛎瀬川	16名	市民他	不特定	
④ ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動							
帝王紫ワークショップ		6/5	ひだまり	7名	市民他	10名	38,244
海苔すき体験		3/25	漁協倉庫前	11名	市民他	23名	
⑤ 自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信							
会報誌発行		4回	国内	8名	国内	1600名	286,308
ホームページ維持管理		通年	国内	1名	市民他	35,468ｱｸｾｽ	
生物データベース管理		通年	国内	2名	研究機関等	不特定	
勉強会参加		15回	国内	15名			
公的保全勉強会		1回	今津	7名	市民他	18名	
山国川河川事務所シンポジウム		11/6	中津文化会館	1名	市民他	100名	
⑥ 民間および公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など							
TOTOリモデルフェア		3/4	TOTO工場内	3名	市民他	不特定	80,809
中津青年会議所イベント協力		8/16	中津文化会館	3名	市民他	不特定	
瀬戸内海環境保全協会研修協力		10/25_27	中津市内	5名	行政・市民	不特定	
野依新池ベッコウトンボ保全作業		11/20	野依地区	10名	行政・市民	不特定	
海と日本プロジェクト協力		1回	別府市	2名	市民他	不特定	
野依新池・植野池保全助言		4回	野依地区	3名	行政・団体	不特定	
中津市環境審議会		2回	中津市役所	1名	行政・市民	不特定	
大分県うつくし作戦推進県民会議		2回	大分市	1名	行政・市民	不特定	
河川協力団体		通年	ひがたらぼ	2名	行政・市民	不特定	
アンケート協力（主なもの）		6回	ひがたらぼ	6名	行政・市民	不特定	
学校ヒアリング協力		5回	ひがたらぼ	5名	学生	不特定	
団体ヒアリング協力		8回	ひがたらぼ	8名	団体	不特定	
五十石川連携ほか		通年	中津市内	2名	市民他	不特定	
蛎瀬川ごみ問題対応		通年	蛎瀬川	2名	行政・市民	不特定	
ニホウサンショウウオに関する対応		3回	中津市内	3名	行政・大学	不特定	
海岸事業に関する検討		通年	中津市内	2名	行政・市民	不特定	
ﾍﾞｯｺｳﾄﾝﾎﾞ保全に関する検討		通年	中津市内	1名	行政・市民	不特定	
⑦ 持続可能な社会を追究するためのその他の活動							
保全の枠組み指定に関する活動		通年	中津市内	1名	行政・市民	不特定	400,153
「ひがたらぼ」運営		通年	ひがたらぼ	1名	行政・市民	不特定	
NPO基盤整備		通年	ひがたらぼ	5名	行政・市民	不特定	
商品（ｶﾌﾞﾄｶﾞﾆｻﾌﾞﾚ・海苔他）販売		通年	中津市･外	2名	行政・市民	不特定	
ガタガタ広場水道設備運営		通年	大新田	2名	行政・市民	不特定	